



11月14日に日高川交流センターで和歌山県町村議会全議員研修会が開催されました。講師は、政治ジャーナリストの泉宏氏で、「当面の政局展望」「旧統一教会国会で岸田政権の危機続く」と題し、最前線の政治記者としての現場取材に基づき詳しい解説を聴講しました。

全議員 研修会参加

意見書を国会と政府の関係機関へ提出しました

インボイス制度実施の凍結・延期を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の収束や景気回復が見通せず、中小事業者・個人事業主の経営困難が続く中、令和5年10月からのインボイス制度（適格請求書等保存方式）実施に向け、令和3年10月1日からインボイス発行事業者の登録申請が開始されている。

年間の売上げが1,000万円以下の消費税免税事業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、農業者、フリーランスも含めた中小事業者・個人事業主が、取引先や元請、業務委託先から取引を断られる、値引きや単価引き下げを求められる、課税事業者になるよう要求される、消費税納税を余儀なくされるなど、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものである。

立て続けの消費税増税やコロナ禍で、時短・営業自粛等を余儀なくされ、地域経済が疲弊する中で、中小事業者・個人事業主の経営危機は深まっており、インボイス制度に対応できる状況ではない。このため、様々な団体・個人が制度の廃止や実施延期を求めることを表明し、現状でのインボイス制度実施に踏み切ること懸念の声を上げている。

コロナ禍を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小事業者・個人事業主の存在が不可欠である。

よって、国及び政府においては、中小事業者・個人事業主の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のため、下記事項について要望する。

記

- 1 インボイス制度の実施を凍結及び延期すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月15日

和歌山県日高川町議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

ゴンパチ栽培のその後について。

美山生研グループの一助になればと思つて始めたゴンパチ栽培。中津川で借りた遊休農地、3反を3人で草刈り、開墾し、電柵の設置等世話をしながら5年目。

当初は順調に育つていたものの、もつと大きな様にと3年目に施肥した汚泥肥料。これが、悪かった。

しばらく経つと、どうも葉の色がおかしい。緑色の葉が茶色になってきて、よく見ると表面が赤色のつぶつぶが付いている。専門家によると赤サビ病らしい。消毒するにも繁つていて中にも入っていない。見ている間に枯れてきて、今ではセイタカ山。元の遊休農地に戻った次第です。

(堀 辰雄)

